

経済産業省「令和 5 年度補正 PHR 社会実装加速化事業」の 実証事業者として株式会社ワコールが採択されました

2024 年 5 月 20 日

株式会社ワコールホールディングス

株式会社ワコール（本社：京都市、代表取締役社長執行役員：川西 啓介、以下ワコール）は、事業者・生活者ともに開かれた環境で PHR※が繋がり、より豊かなサービス・生活・体験が広がる未来につなげるべく、PHR サービス利用者の拡大とユースケースの創出を目指して経済産業省が実施する「令和 5 年度補正 PHR 社会実装加速化事業（情報連携基盤を介した PHR ユースケースの創出に向けた課題・論点整理等調査実証事業）」の実証事業者として採択されました。ワコールは、本実証を通して、提供する PHR サービスならびにマーケットの成長に寄与し、日本のヘルスケアサービスに貢献してまいります。

※PHR（Personal Health Record）とは、健康診断結果をはじめとする、体重、血圧、血糖値等の情報やウェアラブルデバイスやセンサー機器等で取得される食事、運動、睡眠等の健康医療情報など



■「3D ボディデータ×PHR データによるソリューション提案」の概要

ワコールは「一人ひとりの自分らしさや美しさに貢献するために、からだところどころの一番近いところで寄り添い続けること」を企業のミッションとしています。このたび採択された「3D ボディデータ×PHR データによるソリューション提案」は「未来の当たり前をつくる」というワコールの DX 戦略ビジョンのもと、生活者一人ひとりが自分のからだや体調に向き合う健康習慣の提案を行うことで、未来の新たなライフスタイルの実現につなげたいと考え、提案しました。

本提案の目的は、ワコールが提供する 3D 計測サービス（SCANBE）の利用によって得られる 3D ボディデータと PHR データを掛け合わせた情報に基づいて、利用者のニーズ（理想の体型に近づきたい、けがを予防したい、姿勢をよくしたい等）に合ったソリューション（コンディショニング、トレーニング等）を提供するサービスの実現を目指すものです。

■「令和 5 年度補正 PHR 社会実装加速化事業（情報連携基盤を介した PHR ユースケースの創出に向けた課題・論点整理等調査実証事業）」について

<背景・目的>

近年、民間事業者によって、健康診断結果をはじめとする、体重、血圧、血糖値等の情報やウェアラブルデバイスやセンサー機器等で取得される食事、運動、睡眠等の健康医療情報、いわゆる PHR（Personal Health Record）を用いた多種多様なサービスが提供されています。日本が少子高齢化・人口減少の課題に直面する中で PHR を活用した予防・健康づくりの重要性は高く、健康寿命の延伸や未病対策の観点でも、新たな産業創出や既存の商品・サービスの質の向上が期待されています。

政府全体の動きとしても、内閣総理大臣をトップとする医療 DX 推進本部が 2022 年 10 月に設置され、PHR の利活用を含む医療 DX 推進に向けた議論が開始され、関係省庁の連携の下で医療 DX 実現に向けた施策が着実に実践されているほか、2023 年 7 月には業種横断的な事業者団体である PHR サービス事業協会が設立され、政府のみならず民間でも PHR 利活用の機運が高まっています。

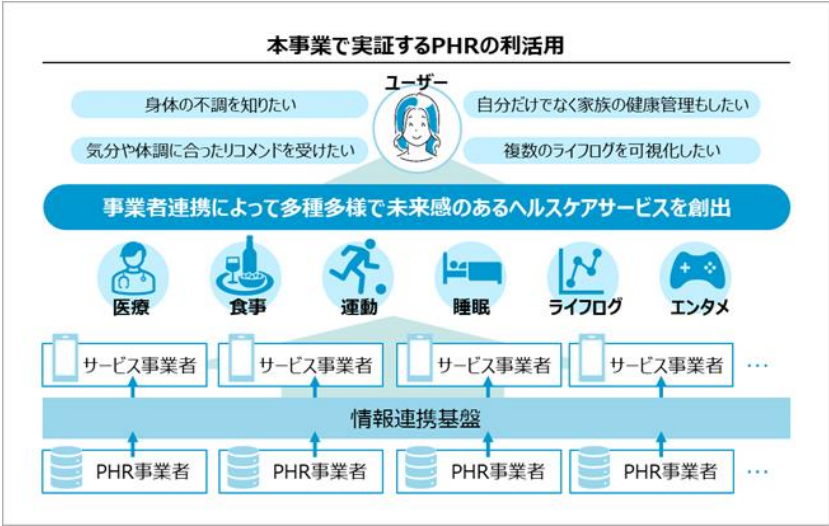
こうした中で、経済産業省として更なる PHR の社会実装加速を図る事業、令和 5 年度補正 PHR 社会実装加速化事業（情報連携基盤を介した PHR ユースケースの創出に向けた課題・論点整理等調査実証事業）を推進し、本事業における実証を通じて得られ

た成果を 2025 年大阪・関西万博（以下、万博）の場で国民向けの体験として提供し、PHR に対する国民の関心を喚起させるとともに、実際の PHR サービス・商品の社会実装に向けた課題や論点の整理を行います。

＜事業概要とスケジュール＞

本実証事業、並びに 2025 年 4 月から開催される「いのち輝く未来社会」をテーマにした万博を通じて、事業者・国民がともに開かれた環境で多様な PHR とサービスが繋がり、新たな商品やサービスを生み出す事業者、それを安心して利用する国民の、より豊かな生活・体験が広がる未来への礎を築き、PHR による“自然と健康になれる社会”を実現してまいります。

本事業期間には、運動、睡眠、食事等の各テーマにおいて、PHR 事業者及びサービス事業者の協調のもと、情報連携基盤を介した PHR を活用したユースケースを提供する仕組みを実証的に実現します。



事業概念図

今後、ユースケースの具体化および情報連携基盤との接続を進め、2025 年 2 月には、ユースケースを体験・評価する実証イベントを開催する予定です。また 2025 年 4 月以降には、創出されたユースケースの国民の体験機会を万博で設けることで PHR サービス利用者の拡大を目指します。

本事業の詳細は公募サイト＜URL : <https://phr-expo-data-utilization.meti.go.jp/>＞をご覧ください。

本事業のスケジュール																		
2024年										2025年								
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	～	10月	
対外発表		● 採択事業者発表					● ユースケース紹介					● プレスイベント						
実証事業内イベント		● マッチングイベント										● 実証イベント ● 万博開始						
採択事業者の取り組み		公募・採択		ユースケース検討			サービス・プログラム開発 (基盤接続・データ連携等)			情報連携基盤 接続テスト			実証事業報告			大阪・関西万博での PHRを活用した体験提供		
		複数のPHR事業者・サービス事業者が協調のもと連携し、PHRを活用したサービス・商品を提供するユースケースを構築する。			複数の事業者間でPHRのやり取りができる情報連携基盤への接続を含むサービス開発を行う。			各ユースケースにおいて情報連携基盤への接続を実行し、接続テストなどを行う。万博への出展事業者が確定する。			各ユースケースにおいて実証イベントでユーザーのユースケース体験機会を提供し、実証事業の成果検証・報告を行う。			本事業で構築された情報連携基盤を活用したユースケースの体験展示やサービス提供を実施予定。「健康とウェルビーイングウィーク」と運動予定。				
※今後変更となる場合があります。																		

※今後変更となる場合があります。

本事業のスケジュール

【お問い合わせ先】

株式会社ワコールホールディングス コーポレートコミュニケーション部（担当：小松原、谷）

TEL：075-682-1028 FAX：075-682-1138